

事業番号	266
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	市民四季の森バラ・アジサイまつり開催事業				担当部	都市建設部				
	会計区分	一般会計		事業類型	一般	担当課	みどり公園課				
	事業期間	平成17年度		～	平成30年度以降		担当係	花と緑推進係			
	総合計画 分野別計画	主目的	5 都市基盤		27 公園・緑地・緑道		1 緑化意識の普及・啓発を進める				
		副目的									
	予算区分	款	8	項	4	目	4	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画										
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	市民四季の森のPRを行うとともに、市民への緑化意識の高揚を図る。									
	内容 (手段)	<p>○24年度実施内容 バラとアジサイの開花時期にあわせ6月2日から6月17日までの16日間にわたり実施した。オープニングの6月2日と3日には、ステージイベントのほか、市民団体との協働による体験型ブースの出展やフラワーオリエンテーリング・探検ツアーなどを開催した。6月16日と17日には、緑化推進協議会によるウォールバスケット教室やチャリティー苗木配布・体験型謎解きイベントなどを開催した。</p> <p>【直接経費の内訳】 開催委託料(7,654千円) 写真大会等の審査員謝礼(162千円) 賞品等消耗品(87千円) 資材購入費(709千円)</p> <p>○25年度実施内容 織田信長公小牧山城築城450年にあたるため、例年の事業に加えオープニングイベントやステージショーなどの記念事業を開催する。</p> <p>【直接経費の内訳】 開催委託料(12,660千円) 写真大会等の審査員謝礼(91千円) 賞品等消耗品(100千円) 資材購入費(910千円)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	8,534	8,084	8,613	13,761	
		正職員	従事者数	人	0.40	0.40	0.40	0.40
			人件費	千円	2,132	2,132	2,132	2,132
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	10,666	10,216	10,745	15,893		
	対前年比	%		95.7	105.1	147.9		
財源	一般財源	千円	10,666	10,216	10,745	15,893		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	開催期間	日	目標	16	16	16
実績				16	16	16	
	イベント数	件	目標	25	27	27	32
			実績	25	27	27	
	成果指標名	単位	目標				
			実績				
	来場者数	人	目標	30,000	30,000	30,000	35,000
			実績	30,000	30,000	28,000	
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	成果指標である来場者数は目標の30,000人を天候の加減で達成できてはいないものの、施設のPRは充分にできている。また、緑化イベントへの参加も多く緑化意識の高揚を図ることについてもある程度達成できている。				
	平成25年度の改善内容	事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業目的を緑化意識の高揚を図ることに重点を移していく必要がある。</li> <li>・さらに市民協働を拡大した開催内容としていく必要がある。</li> <li>・イベント名称の「バラ・アジサイ」については、イベント開催時期が限定されてしまう。</li> </ul>				
		事業を縮小・廃止したときの影響	施設のPRや、緑化意識の高揚を図るための機会と市民との協働の場が減る。				
	平成26年度の事業の方向性	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	小牧山城築城450年記念でオープニングセレモニー・ラジオの公開録音や武将隊・姫隊による記念演武を実施する。また、イベント名でもある「バラ」をテーマに世界のバラ展・著名人によるトーク・デモンストレーションなども行う。				
		方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
判定理由		来場者も多く、施設のPRや緑化意識の高揚については、一定の成果が上がっていると考えられるため。平成25年度は、小牧山城築城450年記念事業として、限定的に事業規模を拡大したが、平成26年度は、平成24年度以前の規模で実施する計画であるため。					
	26年度以降の改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が企画し参加するイベントとするため、事業委託業者選定の企画審査会に市民活動団体代表を加え意見を取り入れるとともに、ネイチャークラフト体験ブースを拡充するなど、緑化意識の高揚を図るためのイベントの充実を図る。</li> <li>・26年度は第10回目をむかえる。イベント名称の「バラ・アジサイ」の変更も視野に、来場者に市民四季の森を満喫していただけるように、開催時期についても検討していく。</li> </ul>					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。